

# 平成 17 年 4 月期 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 16 年 9 月 6 日

上場会社名 株式会社ダイサン

（コード番号：4750 大証第二部）

（URL <http://www.daisan-g.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 三浦 基和  
責任者役職・氏名 取締役管理本部本部長 住川 章雄

TEL (06) 6243-6341

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

・引当金及び税金費用の計上基準等について、一部簡便な方法を採用しております。

・その他影響額が僅少なものについては、一部簡便な方法を採用しております。

最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

当四半期については、監査法人による監査を受けておりません。

## 2. 平成 17 年 4 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 21 日～平成 16 年 7 月 20 日）

### (1) 経営成績の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 4 月期第 1 四半期	1,721	( 8.2 )	57	( - )	62	( - )	32	( - )
16 年 4 月期第 1 四半期	1,590	( - )	-	( - )	-	( - )	-	( - )
（参考）16 年 4 月期	6,991		594		611		585	

	1 株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 4 月期第 1 四半期	4	38	-	-
16 年 4 月期第 1 四半期	-	-	-	-
（参考）16 年 4 月期	78	1	-	-

（注）売上高以外の四半期経営成績の開示は当四半期から行っているため、前年同四半期については記載しておりません。売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

### [ 経営成績の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第 1 四半期のわが国経済は、設備投資の増加や輸出の好調を背景に、企業収益の改善が進み、個人消費にも明るさが見えるなど回復の兆しが見られます。一方、当社と関連の深い新設住宅着工戸数は、分譲住宅は好調を維持しましたが、全体的には厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は新規開拓による営業基盤の拡大、施工力の強化を進めてまいりました。

この結果、売上高は 1,721 百万円（前年同四半期比 108.2%）、営業利益 57 百万円、経常利益 62 百万円、四半期純利益 32 百万円となりました。

### (2) 財政状態の変動状況

（百万円未満切捨）

	総資産		株主資本		株主資本比率		1 株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%		円	銭
17 年 4 月期第 1 四半期	6,481		4,621		71.3		615	67
16 年 4 月期第 1 四半期	-		-		-		-	-
（参考）16 年 4 月期	6,815		4,692		68.9		625	4

## 【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金同等物 四半期(期末)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年4月期第1四半期	202	4	385	934
16年4月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年4月期	98	42	782	1,113

(注) 当四半期より四半期財政状態の開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

## [ 財政状態の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期末における総資産は、現預金及び受取手形の減少額 515 百万円等により、前期末に比べ 334 百万円減少し、6,481 百万円となりました。

また、負債は借入金の減少額 310 百万円等により、263 百万円減少し 1,859 百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況については、当第1四半期における現金及び現金同等物は、期首時点より 178 百万円減少し 934 百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益 62 百万円、売上債権の減少額 162 百万円等により 202 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、匿名組合出資返戻金 16 百万円、有形固定資産の取得による支出 9 百万円等により 4 百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の純減額 310 百万円等により 385 百万円の支出となりました。

## 3. 17年4月期の業績予想(平成16年4月21日～平成17年4月20日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	3,939	282	169
通 期	7,700	450	270

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 35円96銭

## [ 業績予想に関する定性的情報等 ]

当社を取り巻く厳しい環境は、今後も継続するものと考えられますが、当第1四半期の業績は概ね当初の予想通り推移しており、前回公表しました業績予想には変更ありません。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。この影響のため、実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があります。